

郡山市議会 志翔会 議会報告 令和元年6月定例会特集

令和初の定例会！ 今任期最後の定例会！



左から 大木 進、森合 秀行、山口 信雄、近内 利男、佐藤 栄作、鈴木 祐治、七海喜久雄、佐藤 政喜、大内 嘉明、塩田 義智、佐藤 徹哉、久野 三男、馬場 大造、諸越 裕、川前 光徳

志翔会 2年の実績！ マニフェスト2019！

志翔会 2年の実績

- ① 年2回の100名規模の議会報告会・記念講演会を実施…議会の見える化を図るため会派で率先して実施
- ② 最大会派・政策集団として率先して議会改革を先導
 - ★定例会一般質問での一問一答方式の導入…わかりやすさの追求
 - ★タブレット端末の導入…印刷費の削減へ、職員の勤務時間縮減へ
 - ★市議会BCP（業務継続計画）の策定…災害時においても機能維持できる議会へ
- ③ 母子生活支援施設廃止条例をめぐる26年ぶりの当局提出議案の撤回へ…市民福祉向上のために是々非々で対応

志翔会マニフェスト2019 人口減少に打ち勝つため、施策実現のため全力で邁進します！

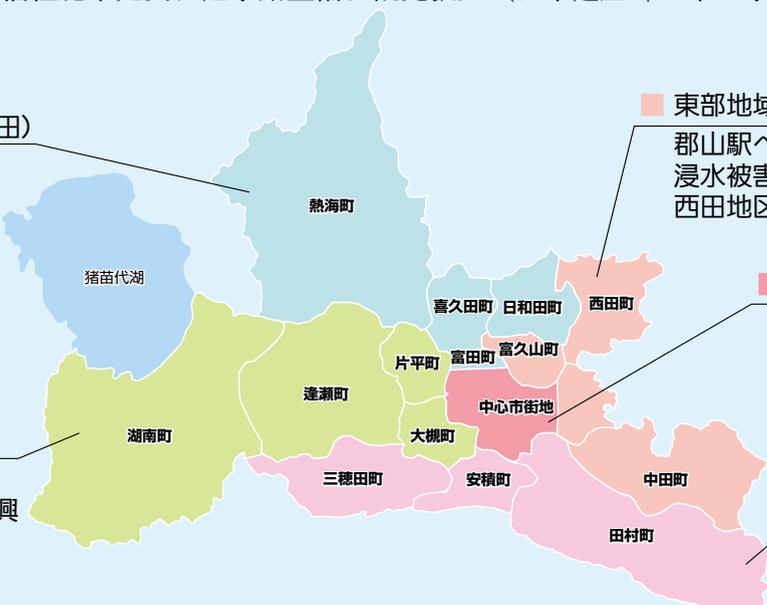
★議会改革継続、教育環境充実、福祉施策充実、通学路整備、観光振興（日本遺産「一本の水路」）、総合交通対策（デマンド交通）、農業の6次産業化推進

■ 北部（熱海、喜久田、富田、日和田）

農業試験場跡地開発促進
郡山インター線延伸
磐梯熱海温泉街活性化
日和田駅・喜久田駅周辺整備促進

■ 西部（大槻、逢瀬、片平、湖南）

郡山中央スマートIC周辺整備促進
逢瀬ワイナリーを活かした地域振興
大町大槻線早期整備
大槻川早期整備
布引高原観光振興



■ 東部地域（駅東口、富久山、緑ヶ丘、中田、西田）

郡山駅へのアクセス（橋梁・道路整備）向上
浸水被害対策
西田地区廃校利活用促進

■ 中心市街地

旧豊田浄水場跡地の利活用推進
浸水被害対策
商店街等の商工業振興

■ 南部（安積、田村、三穂田）

郡山南IC周辺開発促進
浸水被害対策
ビッグパレット新駅実現
笹川大善寺線早期4車線化

令和元年6月 定例会概要

令和元年6月定例会が閉会し、令和元年度6月補正予算をはじめすべての提出議案を可決しました。そのうち令和元年度6月補正予算については、懸案事項の早期解決のため、関係機関との調整に進捗が図られた事業などに係る経費のほか、新たな行政課題や市民生活の需要への対応に要する経費が計上され、一般会計4億9,991万5千円、特別会計3億9,055万9千円、合計8億9,047万4千円となっています。

◆歳出の主なもの…農福連携推進事業、稲作農業確立対策事業、園児等の移動経路における安全確保を図る交通安全施設整備事業、小学校未来を拓く教育の情報化推進事業（タブレット端末の追加整備）など

コラム column

第4回志翔会議会報告会・記念講演会を開催しました

6月22日(土)ビッグパレットふくしまで、第4回志翔会議会報告会・記念講演会を実施しました。当日は、100名近い市民の皆さまに参加して頂きました。第1部の議会報告会では、本年度予算の概要や令和元年6月定例会について説明させていただきました。その後、参加した市民の皆さまから頂いた市政に関する質疑応答を行いました。

第2部の記念講演会では、「ひまわり荘の重要性を考える～母子生活支援施設の役割から考える児童虐待への対応～」というテーマで、児童虐待やDV被害対策等が専門の福島大学人間発達文化学類の特任教授である安部郁子氏、先進的な施設として全国的に注目されている横浜市にある母子生活支援施設くらきの施設長である成田信子氏からそれぞれ、児童虐待やDV、母子生活支援施設の現状と今後の役割の重要性について講演していただきました。



6月定例会市政一般質問

要旨

▶ 燃料電池分科会の設置について

問 水素利活用においては、モビリティ分野だけでなく、水素と酸素を化学反応させて電気を取り出す燃料電池もある。本市の水素利活用拡大にも繋がることから、燃料電池分科会も設置すべきと考えるが見解は。



佐藤 栄作



答 水素利活用の拡大に繋がる「燃料電池」の普及については、これまで、「家庭用燃料電池（エネファーム）」設置費に対して、5万円を上限とする助成を、昨年度からエネルギー3R推進事業補助メニューに追加し、58世帯、290万円の設置支援を行った。今後

においても「水素利活用の推進」を実効性あるものとするため、「燃料電池」を含めた新たな分科会の設置については、郡山市水素利活用推進研究会において検討していただくようお願いしていく。



本市も推進している地球温暖化対策のための賢い選択「クールチョイス」

▶ 産業団地の整備について

問 太陽光発電普及に伴い、使用済み太陽光パネルの処分が課題となっており、2020年代に廃棄量が急増する見通しだが、現在、鉛などを回収する技術は確立しておらず、コストも高いが、産学官連携のもと安価なリサイクル技術の開発が確立されれば、新たな産業の創出と同時に新たな成長産業となることが見込まれる。そこで、郡山東インターチェンジ周辺に研究機関を核とし、太陽光パネルリサイクル工場の誘致を目的とした産業団地

の整備を提言するが見解は。

答 本市の東部地域に、太陽光パネルリサイクル工場の誘致を目的とした産業用地を整備することについては、当該地域が産業用地としての実現性や優位性といった条件を満たしているのかについて、多角的に検証するとともに、既存の廃棄物処理施設での可能性も含め、リサイクル技術実用化に向けた進捗状況を見守る必要があるものと考えている。

▶ 母子生活支援について

問 第27回郡山市子ども子育て支援会議において母子生活支援についてのニーズ調査を行っていくことが報告されたが、その対象者、時期、手法や内容はどのようなものになっているのか。



川前 光徳



また、課題解決の為には、在宅でのサービスでよいのか、母子生活支援施設のように常時寄り添って見守る

施設が必要なのか、その判断は今回のニーズ調査を踏まえた上で、専門的な知見を持って臨むべきと考えるが見解は。

答 調査対象者は、市内に居住する児童扶養手当受給資格のある全てのひとり親家庭、約3,300世帯とし、調査の時期は、本年8月の児童扶養手当の現況届提出期間を予定している。調査手法は、現況届提出時の待ち時間を活用したアンケート用紙による調査のほか、スマートフォンやパソコンでの回答を可能とする。調査内容については、次回の子ども子育て会議の中で検討する。

また、今回のニーズ調査は、今後、ひとり親家庭の生活支援のあり方を広く検討するためのニーズ把握を目的とするもので、現在の生活状況や悩み・不安ごとに加え、支援策としての住居提供や児童虐待・DV被害者への対応等の項目が想定されるが、詳細は、次回の子ども・子育て会議で協議のうえ決定していきたい。

なお、調査で得た情報を検証・分析し、母子生活支援全般のあり方を、子ども・子育て会議の中で検討していく。

拉致問題をめぐって人権教育を考える 資料アニメ「めぐみ」の活用状況について

問 政府は北朝鮮による拉致問題への理解を深める資料として、平成20年以降、全国の小中学校に拉致被害者横田めぐみさんのドキュメンタリーアニメ「めぐみ」の上映用DVDを配布し、学校での活用を促しているが、本市小中学校では上映の機会をどのように設けているのか、授業などで活用されることはあるのか等、教育現場での活用状況は。

また、深刻な人権問題である日本人拉致問題を、市内の小・中学校では、どのように取り上げ教えているのか。取り組みや考え方は。

答 6月17日現在、小学校7校、中学校4校において活用している。各学校では、拉致問題をはじめ様々な課題を取り上げ、各課題についての理解を深めるとともに、探究活動等を通して、将来国際社会の一員としてよりよい社会を築いていく意欲と態度を育成している。



政府拉致問題対策本部ウェブサイトから

公民館の貸館機能の改善について

問 公民館の第3日曜日が一斉に休館日となっているが、同じ生涯学習施設としての図書館は、中央と地域館の休館日をずらして、どこかは利用できるようになってきている。公民館をせめて貸館機能だけでも、いつでも市民が利用できるようにできないか。



近内 利男



答 現在本市では、地域の皆様や各種団体が実施する発表会や地域行事の開催等にあたり、公民館の第3日曜日の休館日を、臨時的に開館し、多様な市民ニーズに対応し弾力的運用を図っている。また、安積及び富久山の総合学習センターや熱海多目的交流施設ほっとあたみの3施設においては、第3日曜日を開館しており、広く市民の皆様にご利用いただいている。今後もこれら施設を市民の皆様にも有効活用していただけるよう、周知啓発に努めるとともに、これまで以上に、休館日の臨時的開館について、地域の要望等を踏まえ柔軟な対応をしていく。



郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム

緑ヶ丘東七丁目市有地の活用について

問 緑ヶ丘東七丁目に旧住宅供給公社から無償譲渡を受けた土地があり、今年度本市に返還される予定となっている。この土地については、地域では土地の有効活用について大きな期待を抱いており、市民のための施設整備による土地の有効活用を検討しては。

答 本年5月30日に庁内横断的組織である「公有資産活用調整会議」を開催し、今後の活用可能性について全庁的に検討を開始した。「郡山市公共施設等総合管理計画」においては、新たな公共施設の整備にあたり、総量縮減の考え方を基本としている。また「郡山市公有資産活用ガイドライン」において、利用計画が定まらない財産については、売却による処分を基本としており、今後においては、これらの考え方を踏まえ、住民ニーズを

的確に捕捉しながら総合的な視点で検討していく。

地区計画への指導・助言について

問 今年3月に策定した「郡山市市街化調整区域地区計画運用指針」の中で「既存ストック有効活用型」を見れば、喜久田小・中学校、喜久田駅、喜久田行政センターからの距離が1kmの範囲において地区計画を作成し、戸建て住宅を建てることにより子育ての中で隣接する喜久田小・中学校へ就学できる環境が整えられる。このことに関して先般喜久田町区長が「喜久田町の未来を考える会」を発足し積極的に取り組むことになったが、この地区計画について当局の指導・助言がどのようになされるのか。



大内 嘉明



答 喜久田町区長会の要請を受け、計3回勉強会に参加し、まちづくりに関する地区の課題を把握するとともに、都市計画制度や地区計画等について、様々な議論を重ねてきた。今後も引き続き、住民と行政の連携のもと、駅や小学校等の既存ストックを活用した地区計画がスムーズに策定できるよう、道路や公園の配置、建築物の形態など、技術的な指導・助言を行っていく。

旧豊田浄水場跡地の駐車場利用について

問 各種スポーツ大会の際に、旧豊田浄水場を廃止してできた広場を暫定的に駐車出来るスペースにすべきと思うが見解は。

答 上下水道局ではこれまでも、各種スポーツ大会等の開催に併せて、主催者等の要請に応じ、上下水道局西側駐車場を中心に、臨時駐車場として開放している。旧浄水場東側の敷地には、撤去工事が完了した部分に約200台の駐車スペースがあり、事業者や職員の駐車場として活用している。当該地を駐車場として利用する際には、駐車スペース周辺の旧浄水施設の撤去工事との調整が必要となることから、可能な範囲で柔軟に対応をしていく。



旧豊田浄水場跡地

郡山の発展のためにさらに前進！



山口 信雄
やまぐち のぶお

1期・安積町
☎945-2233

市民の皆さまには大変お世話になりました。今後も未来思考で郡山市発展の為、尽力して参ります。



大内 嘉明
おおうち よしあき

5期・喜久田町
☎959-2319

市民の皆様福祉向上に向け20年間全力投球して参りました。今後もふるさと創生めざし頑張る参ります。ありがとうございました。



大木 進
おおき すずむ

1期・喜久田町
☎951-7290

「生まれて・育って・暮らして『良かった』と市民が実感する街づくりに全力で励みます。



近内 利男
こんない としお

3期・緑ヶ丘
☎942-7967

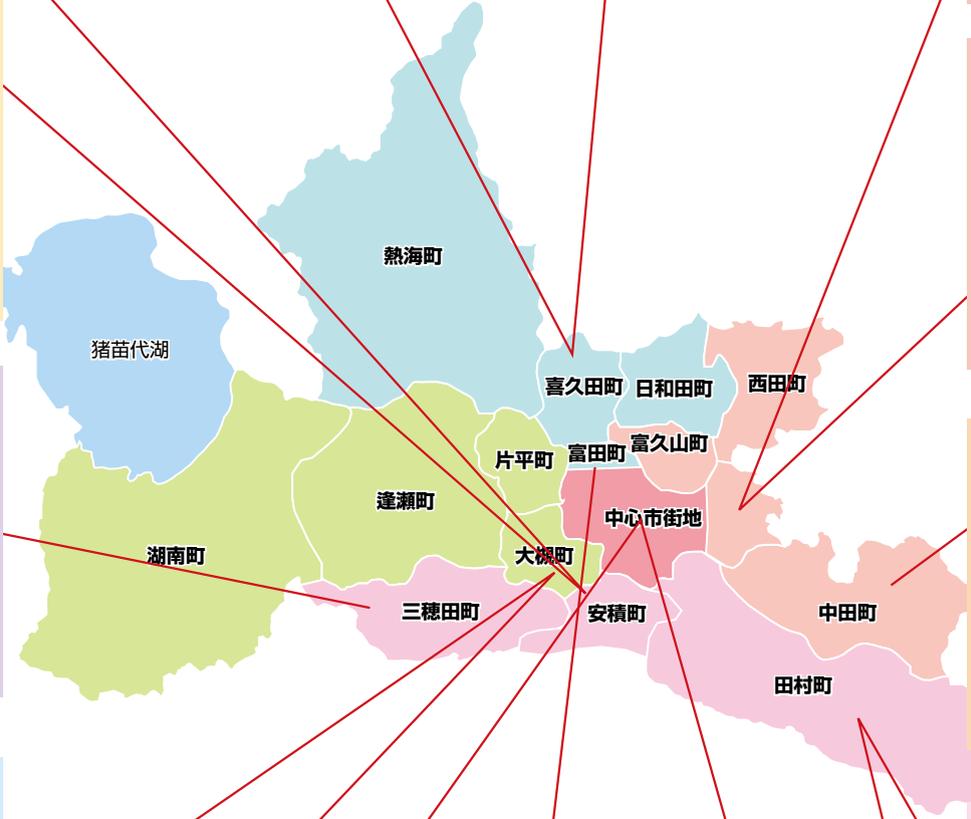
廃プラの処理から科学の発達が必ずしも人類の幸福につながらず。環境とさらにその先へ。



森合 秀行
もりあい ひでゆき

1期・安積町
☎953-7885

児童虐待やイジメのない子どもの元気・やる気・夢を育む街を目指して走り続けます。



久野 三男
ひさの みつお

3期・方八町
☎943-3200

今期は、経験と挑戦で地域と市民のために勤めて参りました。これからも感謝と誠意で働きます。



塩田 義智
しおた よしとも

3期・三穂田町
☎945-2015

市民、地域と共に常に現場に姿あり。真心と行動力を持って、社会の秩序と安定を守ります。



七海喜久雄
ななうみ きくお

4期・中田町
☎922-9587

志翔会の仲間達と郡山のこれからの議論し、さらに発展する市政に取り組んで参ります。



佐藤 政喜
さとう まさき

3期・大槻町
☎951-2316

議長としての知識・経験を基に、住んでよかったと思える故郷創りに全力を傾注いたします。



鈴木 祐治
すずき ゆうじ

5期・田村町
☎955-2172

郡山の歴史のふるさと田村町。古きを訪ねて郡山の発展を願う。



諸越 裕
もろこし ひろし

3期・大槻町
☎952-4258

子どもたちの笑顔を取り戻し、完全復興を目指して参ります。



佐藤 栄作
さとう えいさく

1期・富田町
☎932-2780

1期議員として無我夢中で市政に携わってきました。今後も市民のために尽力いたします。



馬場 大造
ばば だいぞう

1期・田村町
☎953-5976

地域の課題を解決し、暮らしの安全・安心な郡山を目指し、政策提言を進めて参ります。



佐藤 徹哉
さとう てつや

2期・菜根
☎934-2585

文教福祉常任委員会の委員長を務めることができました。地域のつながりを大切に活動していきます。



川前 光徳
かわまえ みつなり

2期・堂前町
☎922-5265

中心市街地の活性化を軸に人口減少に打ち勝ち教育福祉文化伝統スポーツ環境充実を推進します。

編集後記

2年間にわたり志翔会だよりの編集を担当させていただきました。市民の皆さまには、様々なご意見・感想をお寄せ頂きありがとうございました。元号が平成から令和に変わりました。令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。令和の新時代、志翔会も市民の皆さま一人ひとりが、夢と希望を実現できる街づくりを目指して参ります。これから暑い夏が続きますので、お体ご自愛下さい。(編集責任者・森合秀行)

郡山市議会議員の虚礼廃止

選挙によって選出される議員等の職にあるものが、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は公職選挙法により禁止されています。

市民の皆様には、この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。